

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和八年一月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1012号

龍

跳

新年試筆作品号

第八十二卷

2

月号

高知
龍跳書道会

謹賀新年

本年もよろしく

お願いです

就任役員一同

新
年
試
筆

廣末幽念

和氣萬家春

幽念

和氣萬家春

福原曉雲

嘉辰令月飲無極
萬歲千秋樂未央

嘉辰令月飲無極萬歲千秋樂未央

梅川桂龍

春風又綠江南岸
明月何時照我還

春風又綠江南岸明月何時照我還

隅田亘心

壽如金石佳辰好
與梅花淡結鄰

壽如金石佳辰好人与梅花淡結鄰

河村容舟

春回雨點溪聲裏人
醉梅花竹影中

容舟書

春回雨點溪聲裏人醉梅花竹影中

浜崎洋堂

荷心香

荷心香
かしかんばし

武内美仁

山路来て
何やらゆかし
春三連草

芭蕉の句
美仁

大原桂園

水流心共閑

大原桂園

水流心共閑

山路来て何やらゆかし春三連草

江西
澄翠



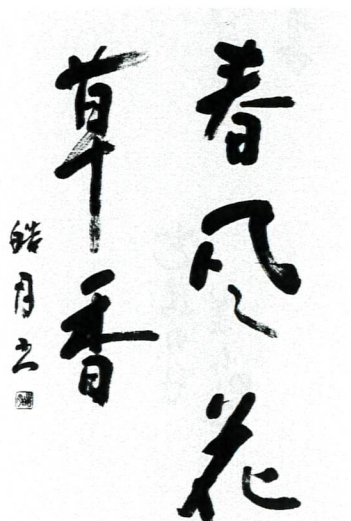
笑福

池
芳
春



奧
堂
皓
月

心
画



春風花草香

横山桂華

我が春も
上々吉也
梅の花
一茶可
胡蝶之

我が春も上々吉ぞ梅の花

横山星舞

恬無欲
星舞上

高橋朱鳥

一日清閑
一日福
朱鳥上

恬無欲

一日の清閑一日福

野中恵花

ゆつくりと
桜の傘や
開きたる

春の
夢の
心

ゆつくりと桜の傘や開きたる

塚地桂峰

夢興落花飛

夢興落花飛

小野紅花

雲外
蒼天

雲外蒼天

岡崎緑水

春満日辺州

邵玄

春満日辺州

田中恵風

希望

志願書

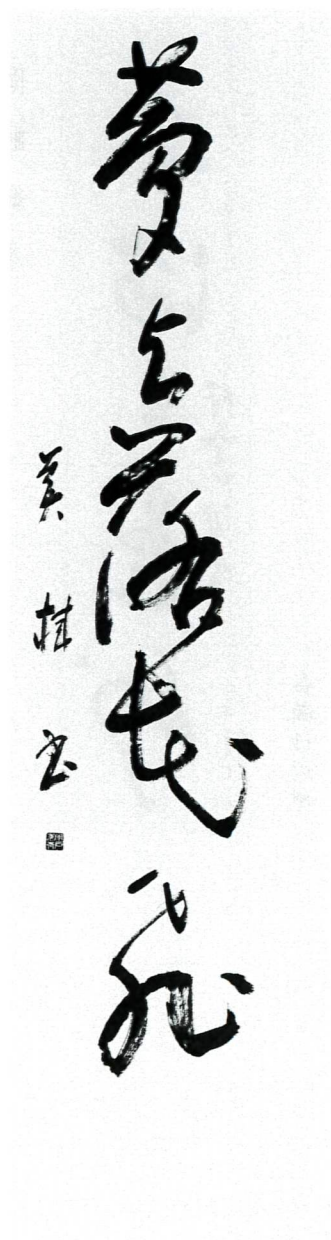
希望

前田 秀華



光風動春

明石 美桂



夢與落花飛

池川千寿

自天降福千萬年

千壽書

自天降福千萬年

石川美水

壽似春山千載秀
如滄海萬年清

壽似春山千載秀
壽如滄海萬年清

井口花道

一花開天下春

花道
七
三

一花開天下春

岩河里華

喧鳥覆春洲

里華書

喧鳥覆春洲

今井真理

閑為水竹雲山主
靜得風花雪月權

閑為水竹雲山主靜得風花雪月權

岩谷紅花

山河四望春

紅花畫

山河四望春

氏原美泉

君去春山誰共遊

美泉
氏原
美泉
氏原

君去春山誰共遊

小川理香

月行疑踏水花坐當薰衣笑問深閨燕明年歸不歸
笑過果曾遊明年歸不歸

月行疑踏水花坐當薰衣笑問深閨燕明年歸不歸

大石千施

白日依山盡
黃河入海流
欲窮千里目
更上一層樓

大石千施

白日依山盡黃河入海流欲窮千里目更上一層樓

岡林邦心

南浦草芳
春雨透東
園花信晚
風催

邦心書

南浦草芳春雨透東園花信晚風催

岡本志峰

元日明窓焚香

志峰

元旦の明窓香を焚き

小笠原廣峰

上棲迎春
新春歸
暗黃著柳宮漏遲

廣峰書

上棲迎春新春歸暗黃著柳宮漏遲

門田惠子

柳綠更帶春煙

貞子書



柳綠更帶春煙

川下久遠

春風江上路

久遠書

春風江上路

佐竹江月

生財看人道

江月書

生財有大道

品原律子

白日看雲坐
清秋對雨眠

律子書

白日看雲坐清秋對雨眠

田村和子

満月輪

和子

満月輪

鶴井未来

四海生春風

未来
書

四海生春風

戸田孝北

冬暖勝如春

孝北書

冬暖春よりも勝る

中城康華

瑞氣集門

康華書

瑞氣集門

中平幸仙

松間照新月

幸仙
公

中平美峰

春色濃於酒

美峰
公

松間照新月

春色濃於酒

西森啓楠

梨花一枝春

西森啓楠



梨の花が咲き春の気配が満ちてきました

西内仁子

心與月俱靜

西内仁子



心與月俱靜

西岡仁陽

水鏡清

仁陽
出

水鏡清

西森令泉

黃鳥話春深

令泉
出

黃鳥話春深

西村芳春

三釜而心樂

芳春

三釜而心樂

西山極山

麗日發光華

芳春

麗日發光華

野島桂山

新年好春色

桂山



新年好春色

弘田賀峰

山河四望春

賀峰



山河四望春
山河四望の春

藤原朱鳳

朝來新火起新烟湖
色春光淨客船

朱鳳書

朝來新火起新烟湖色春光淨客船

深瀬綠堂

白雲無盡時

深瀬綠堂

白雲無盡時

別役美佐

春江百花深

美佐出

春江百花深

松本世津

春光傳野水

世津

春光傳野水

水田紅子

春水滿四澤

紅子書

香水滿澤

森本寿山

寒辭去冬雪暖
華入春風

壽山書

寒辭去冬雪暖帶入春風

山崎隆志

明鏡止水

隆志書

明鏡止水

横田紫秋

瑞氣滿梅花

紫秋書

瑞氣滿梅花

吉田深美

迷悟根依成理事是一般

深美



迷悟根依成理事是一般



翻刻左繡敘 しゅう

貫名菰翁 ぬきなすうおう

傳家祇_レ攬_レ爾。夫子如憲。
 後世之茫然而親授之乎。惡。
 舍游夏之徒。附之別人之有。
 如果授之。邱明乎。則公羊穀。
 梁豈敢於吾師之師所親授。
 立異議之有。夫子之不授。邱。

傳家祇以攬之爾。夫子如憲。後世之茫然。而親授之乎。惡。舍游夏之徒。附之別人之有。如果授之。邱明乎。則公羊穀梁。豈敢於吾師之師所親授立異議之有。夫子之不授。邱。

この左繡敘稿本は、菰翁が自家出版した左繡（嘉永七年刊）のための叙文の草稿である。細字行書のよき模範といえよう。

春季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

花開萬人集 花盡一人無
但見雙黃鳥 綠陰深處呼

花開いて万人集まり／花尽きて一人無し／但だ見る双黄鳥／綠陰深き処に呼ぶを

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と三十ページ貫名
菖翁 翻刻左繡紋、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記
すること。
。当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

春潮帶雨晚來急 野渡無人舟自横

春潮 雨を帯びて晚來急なり／野渡 人無く 舟自ら横たわる

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と三十ページ貫名菖
翁 翻刻左繡紋、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓
号を明記すること。
。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

白雲無盡時

白雲尽くる時無し

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記
すること。
。当選者は初段以下相当級位に認定編入する。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円
(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さ
い。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」一月号掲載(二月二十日締切)の課題字句とします。

。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数
字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけませ
ん。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳一月号(二月二十日締切)の課題字句とします。
。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名
を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

△作品の締切

令和八年二月二十六日(木) 必着のこと。

△審査日時

令和八年三月一日(日) 午前九時三十分より

△審査場所

未定

△受験作品送付先

〒七三〇〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

⑨ 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

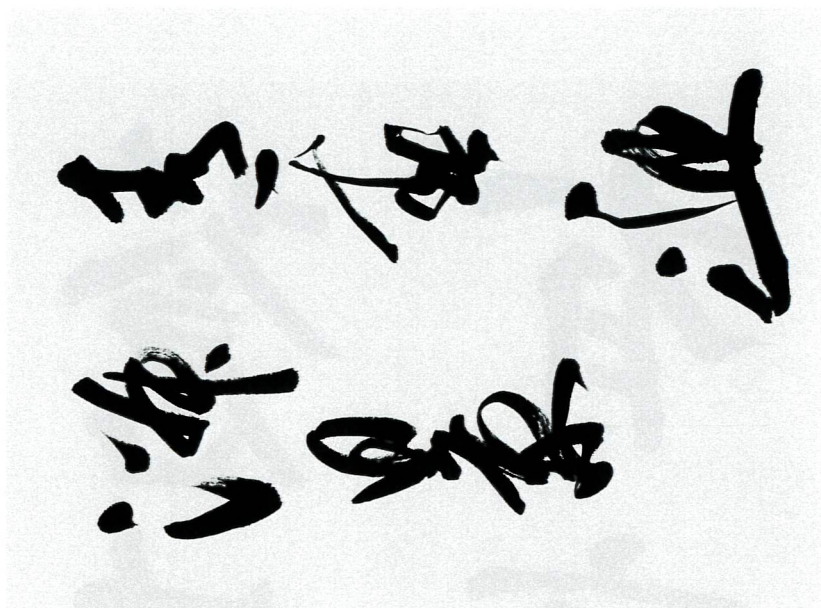
梅
川
桂
龍
書

蒼
苔
已
有
痕

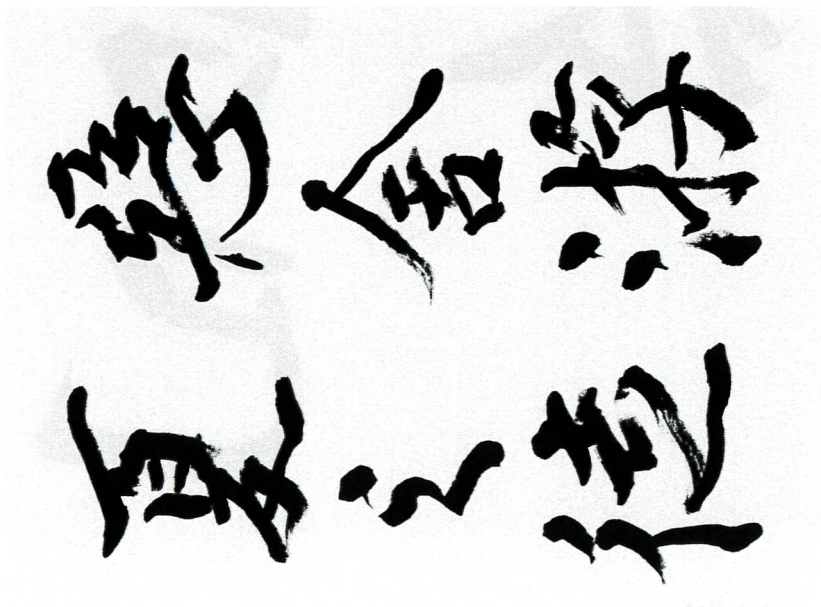
蒼苔已そうたいすでに痕あと有り

福 原 曉 雲 書

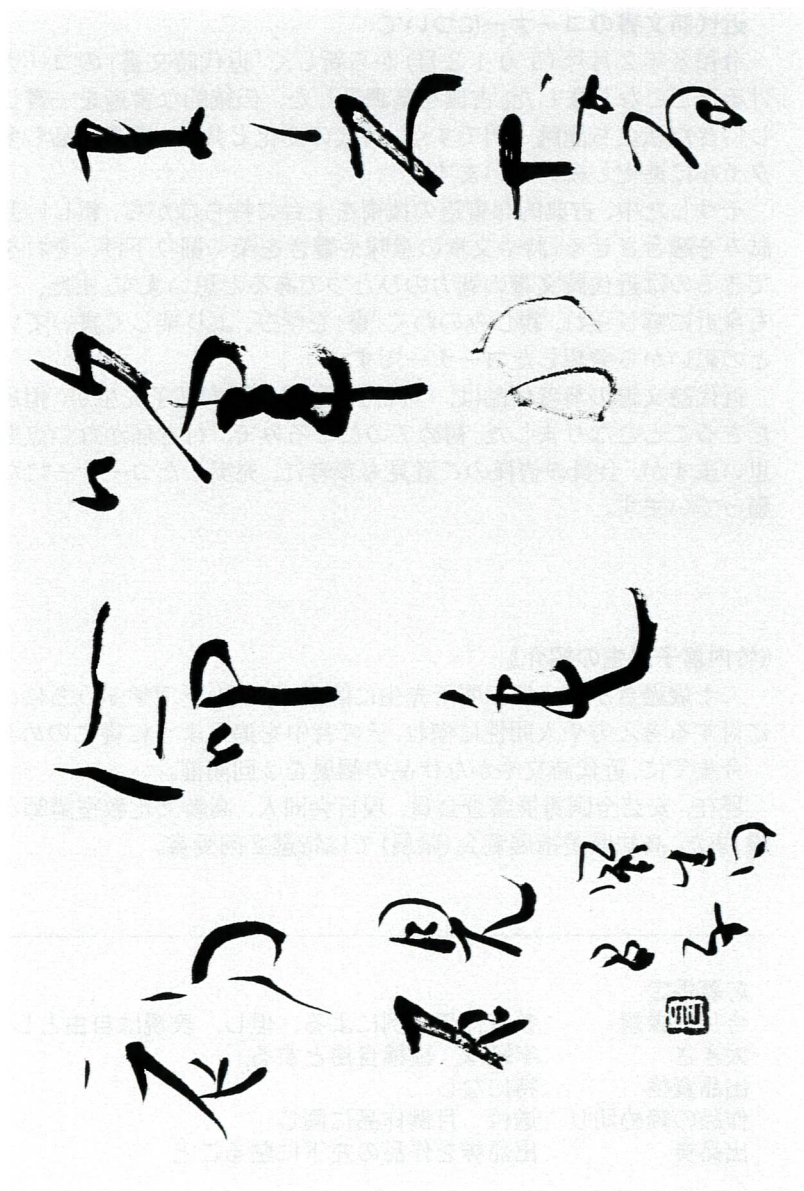
草 漱 景 を 迎 ぐ
さいしゅうけいをむか



福 原 曉 雲 臨



竹内昌子書



富安風生の句 ましろなる筆の命毛 初観

近代詩文書のコーナーについて

令和8年2月号(1012号)から新しく「近代詩文書」のコーナーを設けることとなりました。古典を基調とした、伝統的な書道を一貫して研鑽してきた私たち龍跳一門ですが、時代の変化と共に、書道作品も多様なスタイルに進化し続けています。

そうした中、古典的な書道の技術を土台に持ちながら、新しい芸術的な試みを融合させる。詩や文章の意味や響きを深く掘り下げ、それを作品にできるのは近代詩文書の魅力のひとつであると思います。また、一般の方も身近に感じられ、親しみのわく「書」を学び、より楽しく書いていければとの思いから発想したコーナーです。

近代詩文書の参考作品は、「現日会」所属の竹内昌子先生が、担当してくださることとなりました。初めてのころみで、行き届かない点もあると思いますが、会員の皆様のご意見も参考に、充実したコーナーになればと願っています。

《竹内昌子先生の紹介》

二十歳過ぎから、沢田明子先生に師事。先生の下で学ぶうちに、師の書に対する考え方や人間性に惚れ、その背中を追うように書にのめり込む。

今までに、近代詩文やかな作品の個展を2回開催。

現在、安芸全国書展審査会員、現日会同人、高新文化教室講師として活躍。また、高知県美術展覧会(県展)では特選2回受賞。

応募規定

今月の課題

大きさ

出品資格

作品の締め切り、送付

出品券

参考作品の例による。但し、表現は自由とします。

半紙は、縦横自由とする。

特になし

月例作品に同じ

出品券を作品の左下に貼ること

令和8・9年度 龍跳競書課題

佐竹 江月	水田 紅子	大原 桂園	弘田 賀峰	隅田 巨心	松崎 緑花	廣末 幽念	武内 美仁	武内 美仁	福原 曉雲	福原 曉雲	梅川 桂龍	担当者
小一・保	小二	小三	小四	小五	小六	中一	中二	中三・二	臨書参考	隨意参考	一般規定	学年 /月
たけ	はる	社会	式入学	池の	常緑	実行	不言	彼方	春山の	課題自由	課題自由	四月
こえ	おと	水音	風そよ	取り	書の	羊毛	紀行	路樹	緑の街	〃	〃	五月
かさ	こい	父母	葉わか	合乗	調和	放	学校	涼風	土手の	〃	〃	六月
うり	せみ	川風	川の	書き	覚え	谷川	花鳥	急流	川上の	〃	〃	七月
すな	そら	台風	み夏休	取る	草を	の田舎	知温	散歩	海岸の	〃	〃	八月
あき	こめ	生命	山里の	乗興	き里	空清	技科学	文字	看板の	〃	〃	九月
県展課題決定後に龍跳誌にて発表します。								〃	〃	〃	〃	県展十月 課題
ひと	きく	外交	世界の	覚え	聞き	理想	高平	深し	紅葉秋	〃	〃	十一月
つる	ふゆ	市場	用心の	か種	し明	き福	文古	遠山	初雪の	〃	〃	十二月
こま	たかる	雪白い	の成人	願清	いき	の天然	休冬	天地	希望の	〃	〃	一月
ひる	つこた	海あら	小春の	合話	いし	の卒業	当給	な話	印象的	〃	〃	二月
した	らさく	き豆ま	が七草	帰行	りき	伝古	写記	答弁	明快な	〃	〃	三月

天分秋暑資吟興
 獻溪山入醉我

伊吹悠道

伊吹悠道

乃以及之六書為至
 先書里不文

大原桂園

大原桂園

銜召獄訓毋得數務
 告天下使明知朕

小笠原廣峰

小笠原廣峰

亦何異清書搜金之士
 裁甚非謂也君子

野中惠花

野中惠花

奉以周旋也然春秋
 之為書俟後既具

深瀬緑堂

深瀬緑堂

朱軾於此書論之豈謂
 夫子修魯史春秋

坂本碧香

坂本碧香

吾有七九一姓公同生
 姓要以平睡一山

江月

佐竹江月

楊州以十策匡時司空
 豫州以勲德著稱

藤原朱鳳

藤原朱鳳

秋風南陌老馬獨
 上高樓故國情

山本惠步

山本惠步

三非理屈朝廷紀綱
 何若存立過尔

大井 淳

大井 淳

条幅当選作品

梅 川 桂 龍 選評

★天位

伊吹悠道君||線にキレがあり全体が明るい。

大原桂園君||十七帖の筆意が感じられる、力強い作。

小笠原廣峰君||線の終筆が気になるが、勢いの良さは魅
力。

野中恵花君||おおらかな運筆で、字々の大小もあり立体
的。

深瀬緑堂君||真剣に臨書して原帖の意をとらえている。

★地位

坂本碧香君||今回の作なかなか力強く、見ごたえあり。

佐竹江月君||原帖の筆意が感じられるようになってきた。

藤原朱鳳君||淡々と臨して努力の作。

★人位

山本恵歩君||すっきりとしているが、筆圧を加える箇所
も欲しい。

大井 淳君||墨量豊かで素直な書きぶりで佳。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

1月の審査は25日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

日常の
話題

2月20日締切

給食
当番

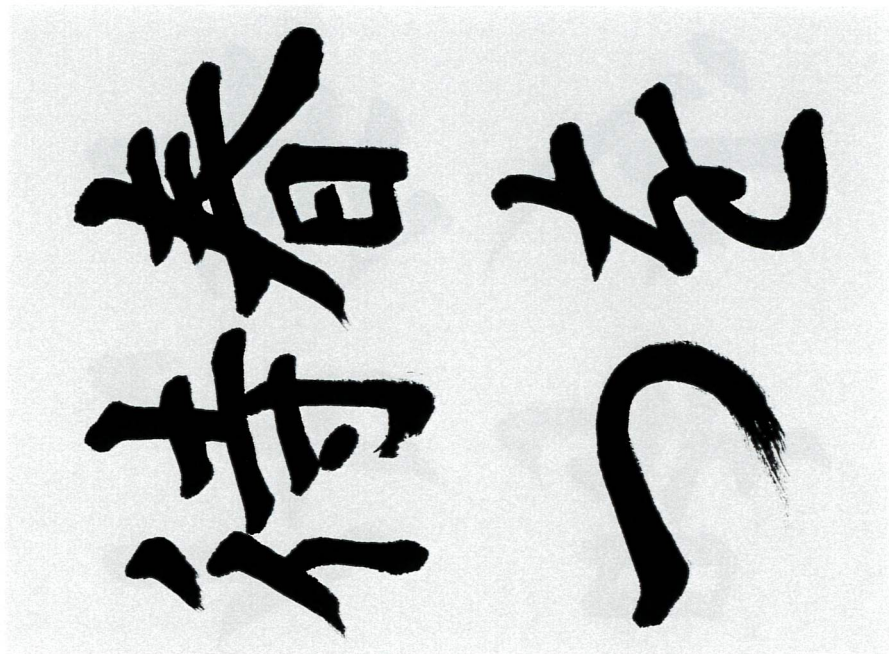
2月20日締切

少年時代

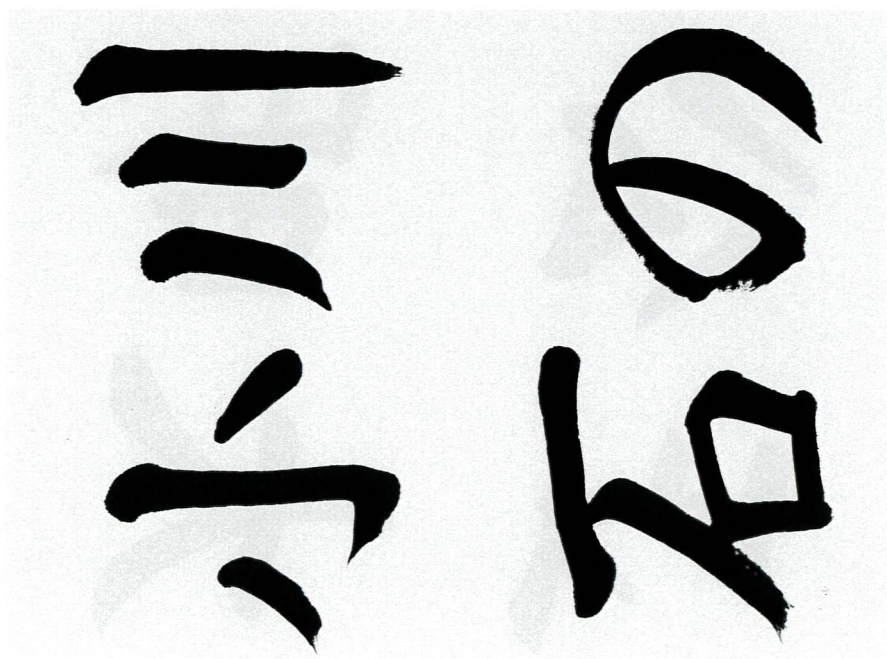
2月20日締切

大正公明

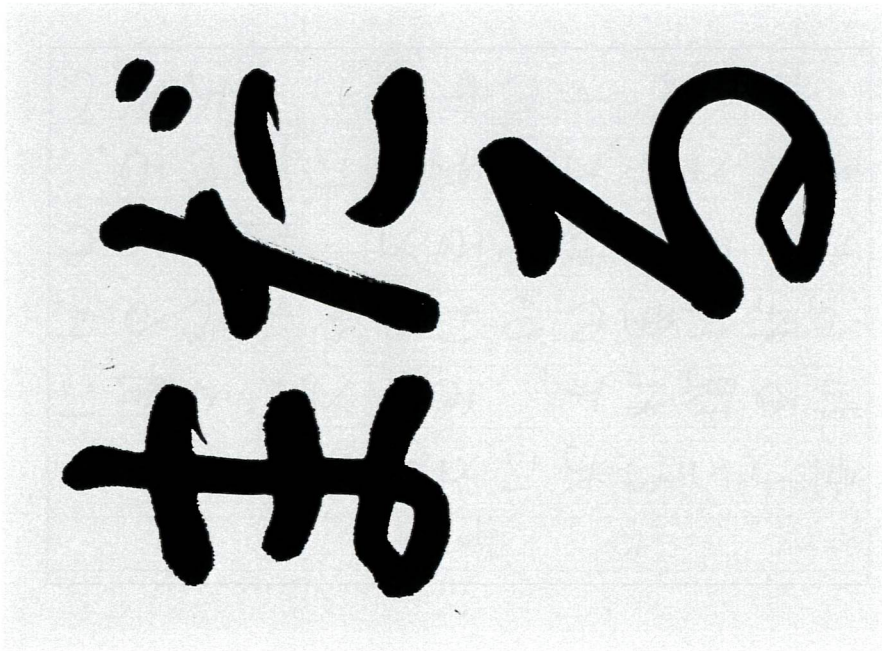
2月20日締切



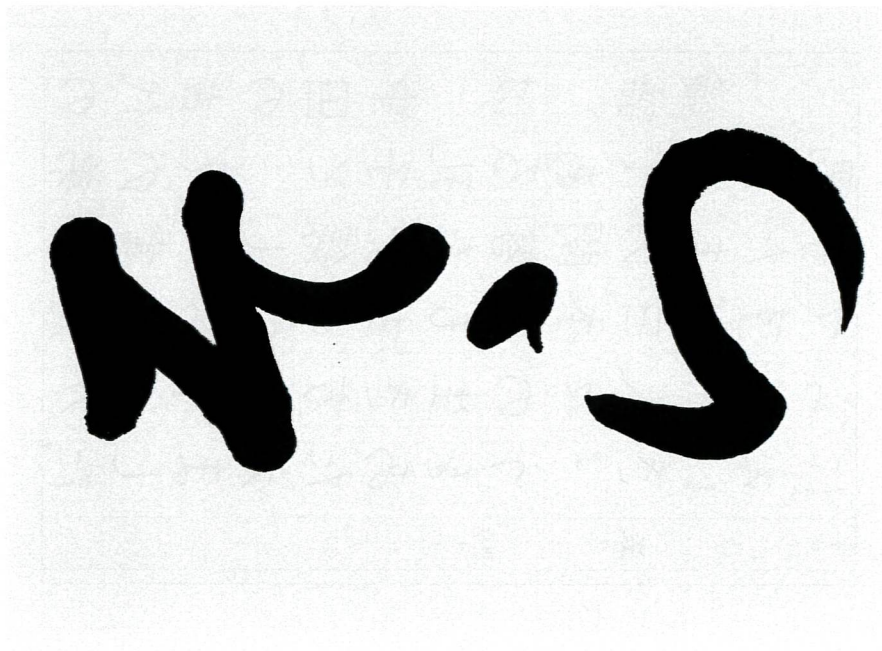
2月20日締切



2月20日締切



2月20日締切



2月20日締切

ポケッ トの中にビー玉五つ									
亮はときどきそれにさわる。									
ビー玉は転がると、閉じこめ									
られた色のかけらが代わる代									
わる現れて、あっという間に									
差しこむ光にとけていく。									
学 校 名		六 年		級 段		氏 名			

学校名

六年

段段

名

2月20日締切

[illegible]学校名

五年

級段

8 40

2月20日締切

ヤ	ド	カ	リ	と	イ	ソ	ギ	ン	チ
ヤ	ク	の	関	係	を	研	究	し	て
い	る	ロ	ス	博	士	は、	ヤ	ド	カ
リ	と	イ	ソ	ギ	ン	チ	ヤ	ク	が
ど	の	よ	う	に	し	て	い	っ	し
よ	に	な	る	の	か、	観	察	し	ま
し	た	。							
学 校 名		四	年	級	段	氏 名			

2月20日締切

夏	に	な	る	と、	庭	や	公	園
の	す	み	な	ど	で、	あ	り	の
行	列	を	見	か	け	る	こ	と
が	あ	り	ま	す。	行	列	は、	あ
り	の	巣	か	ら、	え	さ	の	あ
る	所	ま	で、	つ	づ	い	て	い
ま	す。							
学 校 名		三	年	級	段	氏 名		

2月20日締切

そうっ と水の中を
のぞきこみました。
池の水がきらきら光
って、ふたりの顔が
うつりました。

2月20日締切

子どもたちが、
ふうせんに花の
たねを つけて
とばしました。

2月20日締切

が	も	の							
お	や	こ	が						
ゆ	く	り	と						
お	よ	い	で	し	ま	す。			

がっこう	ほねん	だん	なまえ
------	-----	----	-----

2月20日縮切

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

- ★昇師 二千元
- ★準師 二千元
- ★学生 一千元

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

- ①昇段の年月日
- ②学生は学校名と学年
- ③一般は市町村名

(申込先)ご希望の先生に要項を明記した文書で直接お申し込み下さい。

〒七八二-一七四二二
安芸郡東洋町河内三〇四
龍跳書道会 福原曉雲
〒七八二-一三〇二
高岡郡越知町越知甲二二七-一六
龍跳書道会 梅川桂龍

星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢
星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢
星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢
星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢	星見樹 梢昏 千夢

(一・二段目) 前田秀華 選評
澄翠君 用筆巧みにして、品格高し。
千寿君 作品に無理のない運筆。
恵花君 適度な筆圧で安定している。
美賀君 線質に味わいあり。
智子君 字々暢びやかな作。
理奈君 鋒立つて強いが落款大すぎ。
(二・三段目) 武内美仁 選評
美桂君 吊った線できびしさが良く出ている。
星子君 重厚で見応えあり。
英子君 線はよく伸び、バランスも良い。
紫秋君 丸みのある線質で余裕の作。
順子君 厚みのある線で快心の作。
(三・四段目) 西山極山 選評
知加君 しっかりした線で良くまとめている。
春花君 いていねいな運筆で安定している。
和美君 力強い作品。がんばって。
みさ君 筆力があり気迫を感じる。
明美君 小粒にみえるが強さを感じる。
伸枝君 線質に味わいあり。
(四段目) 西山極山 選評
衣里子君 気力充実、明るい。
桂子君 筆力あり気迫感じられる。
杏実君 いていねいな運筆で力強い。

仁壽宮也

生於心
收養

又學

奉以周
旋也

相望刊

座同

茶系帶

茶香帶

石銘

是第

雪浮

雪浮

尚且左

信に存

漢之際

尚且左

支右吾

ふ新

曹衆夾

支右吾

尚且左

有交腰

茶系帶

我衆作

支右吾

之仁

雪浮

氣旬

尚且左

茶香帶

充禮

喪亂

支右吾

雪浮

儀使

之極

(一・二段目) 福原曉雲 選評

桂園君 九成宮を四文字で固め、裏

打ちされた大佳。

賀峰君 鄭義下碑を一点一画慎重に

記した作品。

幸仙君 几帳面に運筆されて新鮮な

作、線が仲々良いまじめな

眉州君 太細線を取り入れ、運筆に

抑揚あり。

桂旭君 運筆にややもたつきが見ら

れる。雅号でいいねい。

仁子君 曹全碑臨の良い線質を取っ

ている。この調子で大いに

研究して下さい。

(二・三段目) 廣末幽念 選評

淳君 すすきりと美しい。

悠道君 柔らかくよく伸びている。

仁陽君 非常に伸び伸びしている。

美水君 迫力ある作品である。

順子君 重厚な作品で良い。

(三・四段目) 深瀬緑堂 選評

知加君 力強く流れも良いが落款を

もう少し小さく。

春花君 丁寧な運筆で余白が生きて

いる。

みさ君 力強い線ですが、左払いの

線ゆつくりと。

虎之介君 気分大きく伸びやか。

美智子君 良くまとめているが、も

う少し元気に。

志津君 筆の穂先が良く立ち大らか

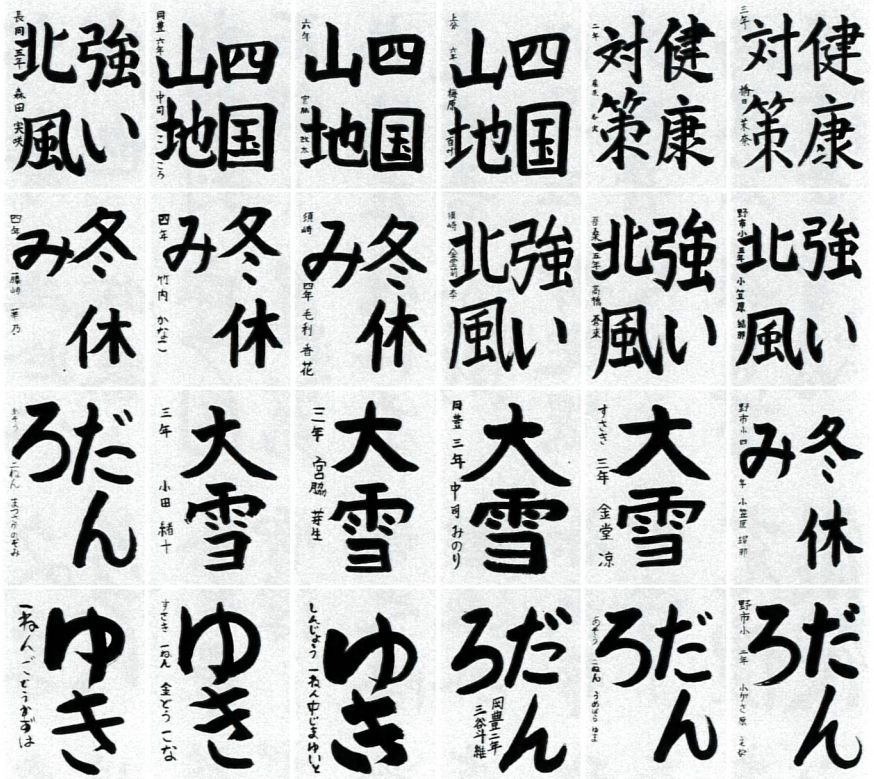
だ。

(四段目) 深瀬緑堂 選評

斗子君 運筆が大きく迫力あり。

里恵君 素直な運筆で大らかだ。

千津子君 堂々と書けている。



(一段目) 中学部 岡林邦心 選評

茉奈君Ⅱていねいで力強い作品です。
杏実君Ⅱていねいで力強い作品です。

(一段目) 小学六年 奥堂皓月 選評

百叶君Ⅱのびやかな線でよくまとめています。
改太君Ⅱ力強くしつかり書けています。

こころ君Ⅱ強い線で一画一画ていねいでとても良い作

品

(一・二段目) 小学五年 奥堂皓月 選評

実咲君Ⅱ強い線で明るい作品。
結那君Ⅱていねいにまとまっています。

蒼來君Ⅱ力強くていねいに書けています。
莉李君Ⅱ伸びやかで形も良いです。もう少し肉太く。

(二・三段目) 小学四年 河村容舟 選評

香花君Ⅱ明るくよく書けています。
伽菜心君Ⅱ力強くしつかりかけています。

華乃君Ⅱていねいに書けています。
瑠那君Ⅱ元気にまとめています。

(三段目) 小学三年 河村容舟 選評

涼君Ⅱしつかり書けています。
みのり君Ⅱゆつたりと書けていていいです。

芽生君Ⅱ元気に書けています。
緒十君Ⅱよく書けています。つづけてね。

(三・四段目) 小学二年 佐竹江月 選評

望未君Ⅱていねいにゆつたりと書けています。
恵那君Ⅱのびのびと書けています。

由菜君Ⅱ力強く書けました。
斗維君Ⅱすなおな字です。がんばれ。

(四段目) 小学一年 佐竹江月 選評

ゆいと君Ⅱげんきよく書けました。
こな君Ⅱ大きくのびのび書けています。

かずは君Ⅱはじめに良く書けました。

多ノ郷 大城 リサ
須崎 松田 菜乃

異なる立場の人どうして話し合うと、自分の立場について新しい見方を見つけたり、異なる立場のよいところに気づいたりして、自分の考えを深めることが出来ます。

多ノ郷 大城 リサ

異なる立場の人どうして話し合うと、自分の立場について新しい見方を見つけたり、異なる立場のよいところに気づいたりして、自分の考えを深めることが出来ます。

須崎 松田 菜乃

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、賃金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちのふり返らせた。

野市 小笠原 結那

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、賃金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちのふり返らせた。

野市 小笠原 結那

野市 小笠原 結那
浦ノ内 中平 澤里

長岡 西内 明利
浦ノ内 正木 芳尚

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、賃金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちのふり返らせた。

長岡 西内 明利

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、賃金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちのふり返らせた。

浦ノ内 正木 芳尚

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、賃金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちのふり返らせた。

浦ノ内 正木 芳尚

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、賃金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちのふり返らせた。

浦ノ内 正木 芳尚

須崎 毛利 香花
越知 藤崎 華乃

すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

大豆はいろいろなすがたで食べられています。大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。

すさき 金堂 涼

大豆はいろいろなすがたで食べられています。大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。

上分 吉村はるか

大豆はいろいろなすがたで食べられています。大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。

上分 吉村はるか

大豆はいろいろなすがたで食べられています。大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。

上分 吉村はるか

岡豊 中司 みのり
あそう うめばらゆま

あそう まつさかのぞみ
ふぞく 江頭 こう

かん字の読み方 同じかん字でも、つかい方によって、ちがう読み方をするところがあります。

あそう まつさかのぞみ

かん字の読み方 同じかん字でも、つかい方によって、ちがう読み方をするところがあります。

ふぞく 江頭 こう

かん字の読み方 同じかん字でも、つかい方によって、ちがう読み方をするところがあります。

ふぞく 江頭 こう

かん字の読み方 同じかん字でも、つかい方によって、ちがう読み方をするところがあります。

ふぞく 江頭 こう

すさき 金堂 こな
うらノ内 とくながあやと

第973回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 梅川 桂龍

(※印写真版)

★天位

※伊吹悠道
※大原桂園
※小笠原廣峰
※深瀬緑堂
※野中恵花
横田紫秋
大平圭子
池 芳春
大石千施
岩河里華
中城康華
西山極山
中平美峰
明石美桂
河村容舟
田村眉州
岩谷紅花
北村桂旭

★地位

※坂本碧香
※佐竹江月
※藤原朱鳳
吉永光翠
山脇佳月
岡林邦心
今井真理
高橋美草
田村和子
横山桂華
武政幽雅
川崎志津
岩崎竹山
弘田賀峰
水田紅子
丸田宏子
中平幸仙

★人位

※山本恵歩
※大井淳
橋本祝子
鈴木輝代
山崎隆志
市川春花
濱田幸子
氏原美泉

規定

審査 前田 秀華

★師範

須崎 江西澄翠
須崎 池川千寿
須崎 野中恵花
高知 大原桂園
高知 岩河里華
佐川 戸田孝北
久礼 奥堂皓月
安芸 中平幸峰
東洋 弘田賀峰
高知 河村容舟
山田 岡林邦心
久礼 中平美峰
山田 水田紅子
野市 小笠原廣峰
須崎 深瀬緑堂
南國 西山極山

★進師範

いの 大野美賀
高知 桑原智子
久礼 浪上理奈
久礼 佐竹江月
上川 田中恵風
旭筆 天野喜泉
窪川 今井真理
窪川 堅田清園
高知 大平圭子

藤田美知子

須崎 山本恵歩
山田 吉田深美
山田 西内仁子
旭筆 丸田宏子
須崎 池役美佐
須崎 池 芳春
須崎 田村眉州
須崎 井口世津
須崎 井口花道
須崎 高橋桜芳
須崎 岩崎竹山
須崎 山田恵子
須崎 仁田川
須崎 窪川

須崎 山田
山田 吉田深美
山田 西内仁子
旭筆 丸田宏子
須崎 池役美佐
須崎 池 芳春
須崎 田村眉州
須崎 井口世津
須崎 井口花道
須崎 高橋桜芳
須崎 岩崎竹山
須崎 山田恵子
須崎 仁田川
須崎 窪川

須崎 鷹ノ巣

須崎 佐桑

須崎 安芸

須崎 山田

須崎 仁田川

須崎 窪川

須崎 越知

須崎 旭筆

須崎 久礼

須崎 山田

須崎 須南

須崎 須南

須崎 須南

須崎 須南

須崎 須南

須崎 須南

須崎 岡村玉水
伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 伊吹悠道

須崎 市川春花
後藤和美

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

須崎 市川春花

南國 田内史恵
西内俊二

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

南國 田内史恵

第706回硬筆成績

○印は昇級

★初段 上分 赤崎南美 上分 中山結愛 ★三段 別府 ○片岡龍威	★三段 越知 藤崎華乃 ★二段 長岡 澤村郁菜 吾桑 長山優奈	多ノ郷はし田かほ 新庄 中島彩斗 ★三段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇牙	もうひつ二年 審査 佐竹 江月 ★四段 吾桑 松坂望未	もうひつ一年 審査 佐竹 江月 ★三段 しんじょう なかじまゆいと	硬筆六年 こうひつ 審査 江西 澄翠 ★特待生 多ノ郷 大城リサ 須崎 松田菜乃 上分 梅原百叶 多ノ郷 松浦結菜 上分 小松希美	★七段 須崎 毛利香花 ★七段 長岡 ○湯川 滯 須崎 田村紗雪 浦ノ内 正木芳尚	★五段 長岡 竹内加菜心 岡豊 島村心遥 上分 梅原未來 多ノ郷 太田朋希 ★四段 長岡 宮脇治太 多ノ郷 森光梨衣奈	★初段 野市 小笠原瑠那 ★四級 越知 ○宮脇未羽 ★八級 長岡 ○大塚もも 越知 ○宮脇芽生 別府 ○吉永羽唯 池川 藤原沙零	★初段 馬路 小松時生 ★三級 長岡 ○大塚もも ★四級 越知 ○宮脇芽生 別府 ○吉永羽唯 池川 藤原沙零	★初段 野市 小笠原恵那 吾桑 梅原由菜 ★初段 岡豊 荻 かお ★一級 岡豊 三谷斗維 ★三級 別府 ○片岡脩平 べふ ぶじはらみずき	★初段 須崎 金どうこな ★二段 池川 後藤和葉 別府 池川つるいはると ★二級 池川 藤原成琉 ★六級 池川 ○大西悠心	★九段 上分 田邊璃音 長岡北村さくら子 長岡 宮脇改太 長岡 森岡 虹 久礼 竹内陽南子 久礼 窪田菜優 浦ノ内 美島希以花 浦ノ内 松山 翔	★八段 浦ノ内 森田 葵 越知 片岡杏璃 ★九級 かみぶん ○よしむらそなた	★三段 吾桑 高橋芽生奈 藤沢 駒崎信慈 ★四段 浦ノ内 中田瑚音 ★四級 別府 後藤 樹
--	---	---	--------------------------------------	---	---	--	--	--	---	---	---	--	---	---

名

★一級 長岡 大塚もも ★二級 越知 ○宮脇芽生 ★四級 別府 ○吉永羽唯 馬路 木下魁人 ★五級 池川 ○藤原汐雪 ★七級 久礼 ○佐竹真到 ★八級 多ノ郷 ○濱田理仁 ★十級 越知 ○小田緒十 ★新規 十級編入 久礼 近藤美の里	こうひつ二年 審査 石川 美水 ★五段 吾桑 梅原由菜 吾桑 松坂望未 ★四段 多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内吉岡まひろ ★三段 附属 江頭航 浦ノ内 中平湧大 ★二段 久礼 森岡紅 浦ノ内寺内かのん ★初段 野市 小笠原恵那 佐川 井上めい 岡豊 荻かお 高岡 隅田珠有 久礼 奈路かなえ ★一級 別府 片岡脩平 岡豊 三谷斗維	上分 橋田果歩 ★六級 奈路 ○坂本翔成 べふ ○ふじはらみずき ★七級 久礼 ○細木しようき ★九級 久礼○松山あいみ こうひつ一年 審査 石川 美水 ★三段 しんじょう なかじまゆいと ★二段 須崎 金どうこな 別府 後藤和葉 ★三級 浦ノ内 ○とくながあやと	★四級 久礼 ○小林じゅんな ★五級 浦ノ内 ○山さきひな 久礼 ○日林にこ 池川 ○大西悠心 ★六級 久礼○毛利いろは 吾桑 ○鈴木 杏 ★七級 久礼○下谷なか 池川 ○藤原成琉 ★九級 久礼○中野せいら	こうひつ ようち・ほいく 審査 石川 美水 ★六級 おひさま ○もりみつるな ★九級 かみぶん ○よしむらそうた ★十級 たちばな ○坂本ゆうま
---	--	--	--	---

宝用品
四道用
房書銘
文庫号
中国産
久保

有限
会社

堂 筆 潤

〒780-0818 高知市宝永町3-3
T E L (088) 8 8 2 - 1 4 5 4
F A X (088) 8 8 4 - 7 4 1 3

(出品票)

令和8年度からの事業計画予定表

のり代	
8年 2月 毛筆	
校名	
学年	
氏名	
段	
級	
のり代	
8年 2月 硬筆	
校名	
氏名	
段	
級	

月 日	時 間	行 事	場 所	室
1月		新年試筆(2月号)		
1月25日(日)	9:30~12:00	1月審査会	高知城ホール	やまもも
2月22日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	2月審査会 練成会	高知城ホール	やまもも
3月1日(日)	9:30~15:00	春季昇段級試験 準備・試験 (慰労会)	高知城ホール	やまもものじぎく (弁当あり)
3月22日(日)	9:30~12:00 審査会終了後	3月審査会 総務会	高知会館	安土・桃山
4月26日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	4月審査会 龍跳展下見会	高知城ホール	やまもも
5月24日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	5月審査会 龍跳展下見会	高知会館	安土・桃山
6月21日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	6月審査会 練成会	高知会館	安土・桃山
7月6日(月)	9:00~12:00	龍跳展搬入	高知県立美術館 県民ギャラリー	県民ギャラリー
7月7日(火)~	9:30~17:00 最終日15:00まで	第69回龍跳展		
7月12日(日)	15:00~	搬出		
7月12日(日)	16:00~	龍跳展慰労会	高知城ホール	のじぎく
7月26日(日)	9:30~12:00	7月審査会	高知城ホール	やまもも
	13:00~15:00	県展出品作勉強会		
8月23日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	8月審査会 県展出品作勉強会	高知城ホール	やまもも
9月6日(日)	9:30~15:00	秋季昇段級試験 準備・試験	高知城ホール	やまもものじぎく (弁当あり)
9月27日(日)	9:30~12:00	9月審査会	高知城ホール	やまもも
10月25日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	10月審査会 練成会	高知城ホール	やまもも
11月22日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	11月審査会 練成会	高知城ホール	やまもも
12月27日(日)	13:00~15:00 15:00~17:00	12月審査会 新年試筆作品提出 忘年会	高知城ホール	やまもも

条幅参考、あとがき当番表（決定）

令和８・９年

提出期日	当 番		あとがき当番
令和８年１月審査会日	塚地	野中	武内
令和８年２月審査会日	野島	岡本(志)	編集室
令和８年３月審査会日	岡崎	森本(寿)	塚地
令和８年４月審査会日	前田	大原	廣末
令和８年５月審査会日	廣末	弘田(賀)	福原
令和８年６月審査会日	武内	河村	梅川
令和８年７月審査会日	中平	松下	隅田
令和８年８月審査会日	隅田	堅田	野島
令和８年９月審査会日	梅川	石川	河村
令和８年１０月審査会日	福原	岩河	武内
令和８年１１月審査会日	岡林	大崎(花)	編集室
令和８年１２月審査会日			塚地
令和９年１月審査会日	塚地	深瀬	廣末
令和９年２月審査会日	野島	西山	福原
令和９年３月審査会日	岡崎	奥堂	梅川
令和９年４月審査会日	前田	西内(仁)	隅田
令和９年５月審査会日	廣末	水田	野島
令和９年６月審査会日	武内	浜崎	河村
令和９年７月審査会日	中平	戸田	武内
令和９年８月審査会日	隅田	小笠原	編集室
令和９年９月審査会日	梅川	池川	塚地
令和９年１０月審査会日	福原	佐竹	廣末
令和９年１１月審査会日	岡林	大石	福原
令和９年１２月審査会日			梅川
補 欠		江西	

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳書道会 兼藩口除障子

01690-3-31925
電話 (〇八八九) 三五〇九七一 番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (〇八八) 八六五―八八五七 番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話 (〇八八七) 二九―二六五〇 番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話 (〇八八九) 四二―三〇六七 番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)
〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (〇八八九) 四七―〇七二一 番

あとがき

新年明けましておめでとうございます。

新年の声を聴くと、前年との区切りがつき、今年
はどのような年になるのかと、新鮮な気分になりま
すが、願わくば、争いのない楽しいニュースの流れ
る、平和の年となるよう祈りたいものです。

さて、龍跳書道会は新年試筆の誌上展からスター
トです。

今年から近代詩文書コーナーが始まります。楽し
いコーナーになるものと今から楽しみにしていま
す。

書道練成会も計画されています。この練成会には、
だれでも参加することが出来ます。一人で勉強され
ている方もぜひ参加して下さい。

又、龍跳展が、「みんなが参加する展覧会」に成長
していくことも楽しみにしています。

外にも、昇試、県展、各地での書展、文化祭等々取
り組みが待っています。

元気でこの一年頑張つて参りましょう。

今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げ
ます。

令和八年二月一日

― 亘心 ―

月例競書課題

部別	締切日	
	二月二十日	三月二十日
一般条幅	任意	任意
半紙規定	蒼苔已有痕	故郷杳無際
半紙随意	任意	任意
中学三年	日常の話題	大志を抱け
"二年		
"一年	給食当番	記念写真
小学六年	少年時代	学力試験
"五年	公明正大	工場見学
"四年	春を待つ	山水の美
"三年	川の小石	若みどり
"二年	だるま	さくら
"一年	そら	はる
保育		

月例作品送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山宛

電話(088)865-8857

会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10～)
(幸便搬送の方は送料不要)

①	1冊	180円
②	2冊～7冊	210円
③	8冊～20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊 ③+①=610円×月数
 22冊～27冊 ③+②=640円×月数
 28冊～40冊 ③×2=860円×月数
 50冊の場合 ③×3=1,290円×月数

◎会費と龍跳誌送料は原則として半年分または1年前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

〇月号 (〇冊) より〇月号まで〇ヶ月分
 誌代 〇円 / 〒料 〇円

と記入のこと。

編集室 福原 曉 雲

野島 桂 山

江西 澄 翠

中平 美 峰

発行人 福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所 龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所 (有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二〇二四四